# 衆議院法務委員会ニュース

平成 22.10.22 第 176 回国会第 2 号

#### 10月22日(金) 第2回の委員会が開かれました。

- 1 裁判所の司法行政、法務行政及び検察行政、国内治安、人権擁護に関する件
  - ・柳田法務大臣、岡崎国務大臣(国家公安委員会委員長) 古川内閣官房副長官、小川法務副大臣、三井国土交通副大臣、黒岩法務大臣政務官、山花外務大臣政務官、吉田財務大臣政務官、小林厚生労働大臣政務官、政府参考人及び最高裁判所当局に対し質疑を行いました。

#### (質疑者及び主な質疑内容)

### 辻 惠君(民主)

- ・大阪地検特捜部前部長・元副部長の起訴及び8名の検事の処分を受け、検察・法務行政の見直しに向けた考えを 伺いたい。
- ・実体のない障害者団体「凛の会」に関する郵便法違反事件について、大部分の供述調書の証拠採用が却下されたにもかかわらず公訴を取り消さなかった理由について伺いたい。
- ・客観的な取調べ状況を把握することを担保するための手 段として、取調べの録音・録画の必要があると考えるが、 法務大臣の見解を伺いたい。
- ・全国検察審査協会連合会が検察審査員及び補充員となった者を知りうる立場にある理由について伺いたい。

## 階 猛君(民主)

- ・検察審査会の権限濫用の歯止めとして議事の透明化を進めるべきであるが、会議録非公開の明文上の規定がないのに、被疑者等の名誉の保護、捜査の秘密の保護、自由な討論の保障の趣旨から会議録が非公開であることについて法務省の見解を伺いたい。
- ・小沢一郎議員に係る検察審査会審査員の平均年齢が、2 度の審査会で同じであること等疑念を持たれるような事態をなくすように、会議録の公開を前向きに検討していくべきと思われるが、法務大臣の見解を伺いたい。
- ・伝聞証拠禁止の原則を軽視する検察の姿勢を改めるために、刑事訴訟法を改正し、供述調書を証拠として採用する要件を厳しくするべきではないか。
- ・最近の法曹における四重苦問題(お金がかかる、なかなか合格しない、法曹になるまで時間がかかる、法曹になっても仕事がない)により、志願者が減少する傾向があることについて法務大臣の見解を伺いたい。

### 平 沢 勝 栄君(自民)

- ・中国各地で発生した反日デモについて、外務省の認識を 伺いたい。また、日系企業等が被害を受けたことについ て、被疑者の逮捕及び日系企業等が受けた損害の賠償に ついて、中国政府に対して申入れをしているのか、伺い たい。
- ・尖閣諸島沖の中国漁船衝突事件において、海上保安庁は 船体以外の物を証拠物として差し押さえたのか、また、 差し押さえた証拠物は返還したのか、国土交通副大臣に 伺いたい。
- ・逮捕した船長について、勾留期間を延長した後に処分保 留のまま釈放したが、勾留期間を延長した理由と釈放し た理由について伺いたい。
- ・捜査において、検察当局は法と証拠のみに基づいて判断 し、外交関係等については政治が判断すべきであると考 えるが、検察当局は法と証拠以外の要因を加えて判断す ることができるのか、法務大臣の見解を伺いたい。

# 稲 田 朋 美君(自民)

- ・岡崎国家公安委員長が過去に参加したとされる韓国での デモとは、いかなるデモで、どのような立場・趣旨で参 加したのか、国家公安委員長に伺いたい。
- ・岡崎国家公安委員長は、韓国におけるデモでいかなる内容の主張をしたのか。従軍慰安婦に個人補償すべきという内容なのではないか、国家公安委員長に伺いたい。
- ・近時発生している中国における日本に向けたデモについて、岡崎国家公安委員長はどのように考え、所管大臣としてどのような指示を出しているのか、国家公安委員長に伺いたい。

#### 柴 山 昌 彦君(自民)

・尖閣諸島沖の中国漁船衝突事件の被疑者である中国人船 長を処分保留とし、釈放したが、今後、捜査を継続し、 必ず起訴・不起訴を決定するのか。被疑者の身柄を拘束 しないで、船長が帰国してしまったのに、どのように捜 査して、起訴するのか。起訴できないとなれば、検察は どう責任を取るのか。法務大臣の見解を伺いたい。

- ・大阪地検特捜部の証拠隠滅事件等について、最高検の検証には、第三者を検証のプロセスに入れるべきではないか。また、法務大臣は、最高検の検証とは別に、検察の在り方について、外部有識者による検討会議を設けて検証するとの方針を示したが、最高検の検証結果と併せて、この会議の結果についても、国会に報告してもらいたいが、法務大臣の見解を伺いたい。
- ・司法修習生に対する給費制から貸与制への移行時期について延期すべきとする意見があるが、法務省政務三役の所見を伺いたい。また、修習資金に係る予算編成について、どのような額をどのような理由で付けたのか、民主党の法務部門会議と財務省との間で、給付制から貸与制の移行問題について打ち合わせがあったのか、財務当局に伺いたい。

### 大 口 善 徳君(公明)

・法務省及び警察庁で取調べの可視化について検討しているが、可視化の目的は何か、取調べの全過程の可視化を 検討しているのか、おとり捜査等の新たな捜査手法の導 入が可視化実施の条件となっているのか、法務大臣及び 国家公安委員長に伺いたい。

- ・村木事件について、本年5月末に大阪地検は最高検から 客観的証拠と証人の供述との間に齟齬があることについ ての認識を問われ、報告をしているが、その報告書を国 会に提出すべきと考えるが、法務大臣の見解を伺いたい。
- ・尖閣諸島沖の中国漁船衝突事件について、勾留当初被疑者に対し接見禁止処分をしなかった理由、勾留延長中に接見禁止処分をした理由、勾留中に被疑者に接見した者を明らかにするとともに、9月23日に那覇地検が外務省担当者から聴取した内容を証拠化した資料を国会に提出すべきと考えるが、法務大臣の見解を伺いたい。

# 城内 実君(国守)

- ・尖閣諸島沖の中国漁船衝突事件について、関係各省担当 者からどのような報告を受け、どのような指示・発言を したのか。法務大臣及び官房副長官に伺いたい。
- ・日本が検察主導国家ではないことについての法務大臣の 見解を伺いたい。また、検察が行ったという中国人船長 釈放の判断は、政治が行ったとはっきりさせるべきだと 思うが、法務大臣の見解を伺いたい。